

評価基準書

区分	評価項目	評価の視点	評価得点 (最低水準点)
1. 業務体制・対応力	(1)業務執行体制の明確化	本業務を円滑に遂行するための業務責任者及び主な従事者が明確に示され、役割分担や連携体制が適切に整理されているか。	9 【5】
	(2)協議・連絡体制の妥当性	本市との協議・連絡体制について、具体的かつ実効性のある体制が提案されており、円滑な業務遂行が期待できるか。	
	(3)対応姿勢の誠実性	本市の意見や要望を尊重し、誠実かつ柔軟に対応する姿勢が示されているか。	
2. 類似業務の実績	(1)類似業務の実績内容	自治体等における類似業務の実績が、本業務の内容を踏まえて具体的に示されているか。	22 【11】
	(2)実績の適合性	提示された実績が、本業務の規模・内容・目的と照らして適切であると判断できるか。	
	(3)業務遂行能力	実績等から本業務を確実に遂行できる能力を有していると判断できるか。	
3. 編集・構成に関する提案内容	(1)構成の分かりやすさ	市民目線に立ち、情報を分かりやすく伝えるため、全体構成や画面構成について、考え方が明確に示されているか。	21 【10】
	(2)情報整理・演出の工夫	ごみ分別判断を支援するため、情報整理方法や見せ方、演出に工夫がみられるか。	
	(3)視聴者を引き付ける工夫	内容や演出など、飽きずに最後まで見てもらえる構成か	
4. デザイン・表現に関する考え方	(1)視聴する人への配慮及びユニバーサルデザイン	高齢者や若年者等、多様な市民が理解しやすい情報とするため、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた配慮や工夫について提案書に具体的に示されているか。	10 【5】
	(2)視認性・分かりやすさ	文字サイズ、色使い、図解等について分かりやすさを確保するための考え方が示されているか。	
5. 業務趣旨の理解・提案の妥当性	(1)業務趣旨の理解	本業務の目的及び実施背景(分別変更、リサイクルの推進等)を正しく理解しているか。	18 【9】
	(2)政策目的への寄与	市民の分別理解の向上及びリサイクルの推進に寄与する視点が盛り込まれているか。	
	(3)提案内容の実現性	提案内容が現実的で実現の可能性が高いと判断できるか。	
6. 価格	参考見積額	(1－参考見積額／提案限度価格)×20点(小数点以下切捨て)	20
合 計			100

※評価点は選考委員一人あたりの配点であり、【 】内の数値は最低水準点である。

※各項目において選考委員5名の評価点の平均が一項目でも最低水準点に満たない場合は失格とする。